

漁海況月報

平成 17 年 8 月 1 日

No. 8

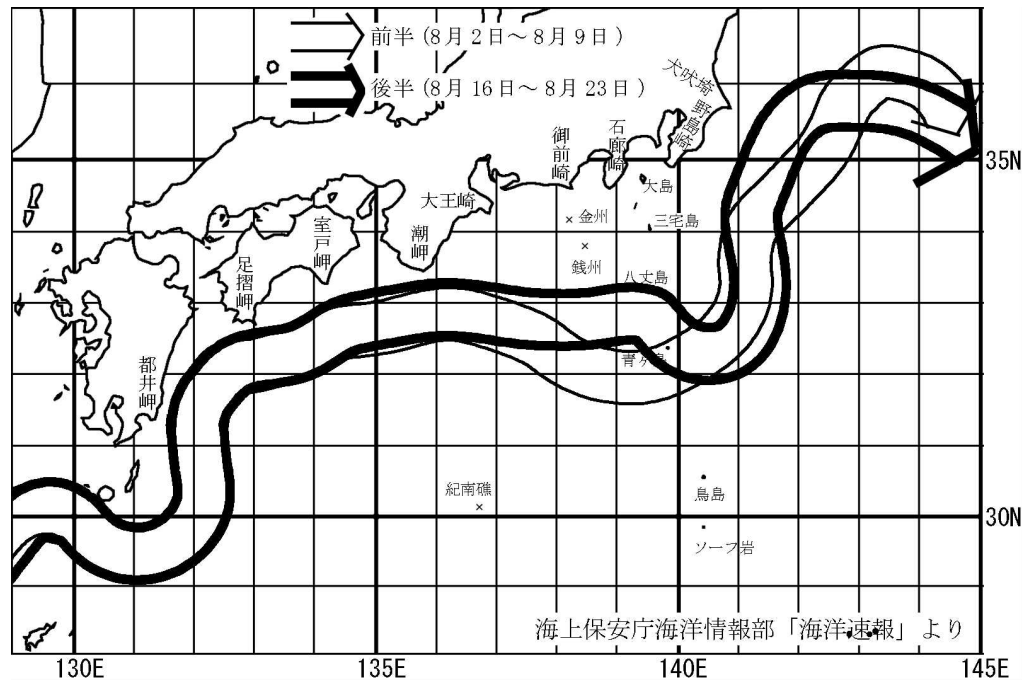
~8月31日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



[黒潮流路]

黒潮は、前半には九州東岸から潮岬にかけて接岸気味に流れた後、遠州灘沖を南東に向かい、伊豆諸島海域の 32° 付近まで達した後、141.5° E 付近を北上し、房総沖を離岸気味に流れた。

後半には、九州東岸から潮岬にかけて引き続き接岸気味に流れ、その後、遠州灘沖 33° N 付近を八丈島付近まで東進し、八丈島東で小規模に蛇行して 141.5° E 付近を北上した。中旬以降、遠州灘から伊豆諸島西にかけて小蛇行の東進に伴い 40~50 マイルの強い接岸傾向を示した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では 21~26 台、駿河湾東部では 24~26 台、駿河湾西部では 23~27 台で経過した。相模湾側の稲取、下田では上旬に伊豆諸島北部の冷水域の影響を受け低めとなったが、黒潮の接岸傾向を示した中旬には一転して高めとなった。また、全域で下旬後半には台風に伴う上下層の混合により平年並~やや低めとなった。

[竿釣近海カツオ]

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は156トンで前年同期の325%であった。魚価は223円/kgで、前年同期より若干高値であった。

中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば、8月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

38°~44°N、144°~156°Eで小、極小、中、大、チンカツオを32°N、140°E付近で小、極小、中、大、特大カツオを漁獲した。

静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船がイナンバ、ハロース等で操業し、34~70cmのカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
17年8月上旬	90	13	6.9	188
中旬	35	9	3.9	312
下旬	31	7	4.5	226
17年8月計	156	29	5.4	223
16年8月計	48	17	2.8	198
15年8月計	70	19	3.7	187

[まき網]

小川港では、マイワシは0.2トン水揚され、平年同期(53.0トン)を大きく下回った。沼津港では、マイワシは11.6トン水揚され、平年同期(548.8トン)の3%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは2.2トン水揚され、平年同期(103.8トン)の11%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

伊東港では、マイワシは0.3トン水揚げされた。カタクチイワシは28.0トン水揚された。

2005年8月

定地水温の旬平均値()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	24.4	22.0	21.6	25.0	26.7	25.8	24.7
	0.5	-1.3	-2.1	-0.3	1.5	0.5	-1.0
中 旬	26.2	25.6	25.6	26.1	26.1	26.8	26.3
	1.0	1.6	1.3	0.4	0.3	1.2	0.4
下 旬	25.2	24.6	23.9	24.9	24.9	25.6	25.6
	0.1	0.3	-0.5	-1.1	-1.2	0.0	-0.4
月平均	25.3	24.1	23.6	25.3	25.9	26.1	25.5
	0.2	0.2	-0.6	-0.4	0.2	0.5	-0.3

[サバ棒受網]

小川港に水揚げされたゴマサバは、前月の水揚量（881 トン）をやや下回る 788 トンであった。漁場は、銭洲、三宅周辺海域を中心に形成され、尾叉長 25～32cm の大きさのものが主体に水揚げされた。1 隻当りの漁獲量は 25.4 トンと昨年同期を上回ったものの、魚体が小さかったこともあり、1kg 当たりの平均単価は 27 円で、低調であった前年同期（54 円/kg）をも大きく下回った。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	325	7	16	20.3	銭洲、中ノ瀬
8月 中旬	28	1	3	9.5	銭洲、中ノ瀬
下旬	435	5	12	36.2	三宅、新島、高瀬
計	788	13	31	25.4	- - - - -
平成 16 年 8 月	632	11	33	19.2	新島、利島、三宅
平成 15 年 8 月	1,004	9	43	23.4	三宅、高瀬、銭洲、利島

[シラス船曳網]

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾で 534kg、遠州灘で 440kg だった。主要 6 港平均では 474kg と前年同期の 315%、平年同期（過去 5 か年平均：286kg）の 166%と、前年、平年ともに大きく上回った。8 月の総水揚量は 1,102.2 トンと、前年同期の 505%、平年同期（585.7 トン）の 188%に当り、前年、平年ともに大きく上回った。平均単価は 628 円/kg と平年同期（721 円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	81.7	15	208	393	541
舞 阪	310.6	15	717	433	577
福 田	185.8	13	347	535	721
御前崎	71.0	17	204	348	564
吉 田	182.6	16	416	439	728
静 岡	270.4	18	432	626	598
平成 17 年 8 月計	1,102.2	-	2,324	474	628
平成 16 年 8 月計	218.2	-	1,450	151	1,224
平成 15 年 8 月計	529.6	-	2,015	263	528

[定置網]

平成 17 年 8 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 345 トンであった。1 漁場当たり水揚量 43.1 トンは前年 62.7 トンの 68.7% で、平年値（昭和 57～平成 16 年平均値）44.7 トンの 96.4%であった。

魚種別にみると、サバ類 175.0 トン（前年の 62%、平年の 1.2 倍）マイワシ 55.1 トン（前年

の 110 倍、平年の 1.4 倍）マアジじんた 43.6 トン（前年の 26.8 倍、平年の 2.8 倍）マルソウダ 15.9 トン（前年の 64%、平年の 74%）マアジ 12.3 トン（前年の 12%、平年の 53%）の順に多かった。

サバ類は谷津、赤石、川奈を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであった。尾叉長はゴマサバが 26cm と 34cm にモードがみられ、マサバは量的には少ないが 35cm と 40cm にモードがみられた。マイワシは富戸、赤沢、北川を中心に入網し、被鱗体長は 13cm であり、今年の初めに生まれた群と思われた。マアジじんたは好漁が続く、谷津、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは 13cm であった。マアジは赤石を中心に入網したが、前年に比べかなり少なかった。尾叉長のモードは 18cm であったが、モードが 24cm の大型魚も漁獲されていた。また、マルソウダは低水準の漁獲が続いたが北川、川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は 34～35cm であり、24cm にもモードがみられた。

漁場別水揚量は、マイワシ、サバ類の漁獲が多かった富戸（58 トン）、サバ類、マアジじんたの漁獲が多かった谷津（55 トン）、マイワシ、サバ類の漁獲が多かった北川（53 トン）の順であった。

[調査船の動向]

富 士 丸

8 月 30 日～ 東沖カツオ・ピンナガ調査(2 日間)

駿 河 丸

8 月 1～3 日 地先定線観測（駿河湾・遠州灘・伊豆）(3 日間)

8 月 4～5 日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2 日間)

8 月 8～9 日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査、IKMT 調査(2 日間)

8 月 10～11 日 駿河湾内にてシラス調査(2 日間)

8 月 16～17 日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査、遠州灘にてサクラエビ魚探調査(2 日間)

8 月 18 日 小川港にて県民の日一般公開(1 日間)

8 月 22～23 日 浜名湖沖にてトラフグ試験操業(2 日間)

8 月 29～30 日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2 日間)